NIE実践報告

1．タイトル：新聞を通して世界を見つめ，自分を深める

2．学校名

新潟県立佐渡高等学校

3．実践者名（代表者名）

中野　理恵

4．学年

２学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　236名

6．単元（本時の学習課題）名

総合学習「セルフチャレンジ」の中での新聞スクラップ

7．目標(狙い)

①新聞に親しみ，新聞の面白さを知る　②新聞記事を通し，自分の生きる世界を見つめ，将来の進路について考える　③文章を読み，まとめ，自分の意見を述べる力を身につける

8．評価の視点

自分の学問領域・研究テーマに沿って新聞記事を選び，記事について自分なりの意見を持ち，記述することができたか。自分の進む学問領域・研究テーマについての理解が深まったか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間（セルフチャレンジプラン）　年間41時間
新聞スクラップは9月～12月，毎月1枚を課題とした。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・新聞の無償配置が行われた9月～12月の4ヶ月間，新聞スクラップに取り組んだ。
・スクラップする際は，原則として自分の学習領域・研究テーマに関するものとしたが，学習領域・研究テーマに関連する記事が見つからない場合は，自分の興味・関心に応じて選んでよいこととした。
・毎月はじめに配布されるスクラップ用紙に新聞記事を張り，要約（100字），意見・感想（200字）を書いて提出させた。
・クラスに配置された新聞は，当日のもの以外スクラップ可能とした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「新聞を読むいい機会になった」「要約する力がついた」「自分の進路に関することをより深く知ることができた」
「大変だった」「学問領域に関わる記事がみつからなくて苦労した」

12．成果と課題

事後アンケートでは，上記のようなプラスの意見が大部分であり，また３割以上の生徒が新聞スクラップをする前に比べ，新聞を読む機会・時間が増えたと回答している。１ヶ月に１度のスクラップでは，新聞を読む習慣が身についたとはいえないが，新聞の面白さを知るきっかけにはなったのではないかと考えている。
生徒は日々の学習や部活動で忙しく，新聞を読む習慣を定着させるのは難しい。今後も継続的に取り組んでいく必要がある。